

## 平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻・教授
氏名 Name	堀川 智也
専門分野 Academic Field	日本語学

### 平成 28 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	言語学史、主語と主題、受身文				
研究計画 (400 字～500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>20 世紀後半、言語研究は、生成文法理論を中心とした研究が中心であったが、21 世紀に入った現在、生成文法理論にかわる理論言語学として認知言語学が勢いを増している。一方、日本語研究の世界においても、20 世紀後半をリードした、いわゆる「日本語記述文法学派」がその勢いをなくし、混迷の色を深めている。これら、言語研究全般における潮流の変化は、ひとえに言語研究に限定されたものではなく、あらゆる「知」の世界全般に共通する、いわば科学史上の潮流の変化である。本年度は、言語研究における潮流の変化を科学史ないしは科学哲学的に問い直し、言語研究における潮流の変化を科学史の中で、広くは 19 世紀から 21 世紀にかけての世界の歴史全般の中で問い直し、その歴史的意味を再考してみたい。具体的には、日本語学の中で、主語・主題研究の研究史、および受身文の研究史を洗い直すことを通じて、上記の課題に鋭く切り込んでいく。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	日本語教育 学 (3204)	言語学 (3201)			
キーワード Keywords*2	主語	主題	科学史	科学哲学	受身文